

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年3月13日時点)

➤ **ウクライナ軍の東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)における攻勢が停滞する一方、露軍は、東部(ドネツク州及びハルキウ州)で攻勢を強めるとともに、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を強化している模様**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- 露国防省は、露軍「南」部隊がドネツク州ネヴェリスケを解放し、より有利な陣地を確保したと発表(3月12日)
- 「ウ」側で戦う露人志願兵組織「ロシア自由軍団」は、同「ロシア義勇軍団」や「シベリア大隊」と共に、戦車を含む重装備品を用いて「ウ」側から露領ベルゴロド州などへの越境攻撃を行った旨発表(3月12日)

- 米紙NYTは、戦闘機F-16について、早ければ7月にも「ウ」に供与される旨報道(3月11日)
- 米CNNは、NATO情報筋の話として、露が月25万発、年間300万発の砲弾製造能力を有している一方、欧米は全体で年間120万発のみと報道。また、現在、前線では露軍が1日あたり1万発の砲弾を使用している一方、「ウ」側は2,000発だと報道(3月11日)
- 「ウ」戦略産業相は、「(戦況を左右する)ゲームチェンジャーは無人工器以外にありえない」とし、「今年は空と海だけでなく、地上でも無人工器が大規模展開される」と発言。また、2月に露軍が占領したアウディウカ正面の戦闘では、機関銃と暗視装置などを搭載した「ウ」国産無人工器「シャブリヤ」が投入されていたと発言(3月12日)
- 米政権は、昨年末以降初となる対「ウ」軍事支援(最大3億ドル規模)を発表(3月13日)



- 「ウ」を訪問しているギリシャ首相がオデーサでゼレンスキー大統領と会談中、両首脳から500-800メートルの地点に露軍ミサイルが着弾(3月6日)
- 「ウ」空軍は、「ウ」国内10州に露軍S-300ミサイル×4及びイラン製無人機×39機の攻撃があり、うち無人機35機を撃墜したと発表(3月10日)
- 露国防省は、同国西部ベルゴロド州に「ウ」軍無人機攻撃があり、2機を破壊したと発表(3月10日)。また、露メディアは、12日にも露国内各地で無人機攻撃があり、露製油所が攻撃を受けて火災が発生したと報道(3月12日)

- 主要都市(下線は州都)
- ☀ 露軍による攻撃が報じられた主な地点(接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- ☀ 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ☀ ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等